

滋賀県看護連盟だより

おうみ



第 50 号

令和 5 年 10 月 10 日発行

発行／滋賀県看護連盟 発行責任者／力石 泉
〒524-0037 滋賀県守山市梅田町2-1 セルバ守山112B
TEL. 077-514-1331
メールアドレス shiga-kangorenmei@extra.ocn.ne.jp

Contents

ご挨拶	滋賀県看護連盟	会長	力石 泉		2
	日本看護連盟	会長	高原 静子		2
	滋賀県看護協会	会長	草野 とし子		2
国会議員だより					3
2023 年度通常総会・特別講演					4
研修会報告					5
全体研修会・アンケート調査					6
施設訪問					7
中堅研修会					8
令和 6 年度予算・政策に関する要望書					8
がんばっている滋賀					9
新役員紹介・今後の予定・読者プレゼント					10

広報の表紙が変わりました。「おうみ」と名前も新たにしました。

「おうみ」を読んでもくださる方々が、少しでも増えていくことを一番に願っています。

撮影 米原市湖岸道路より湖西の山々を望む

ごあいさつ



滋賀県看護連盟
会長 力石 泉

猛暑の日々から、ようやく朝夕に秋を感じることができるようになりました。

新型コロナウイルスと共に、日々の生活を送れるようになってきたものの、看護の現場は、人材不足の中でも24時間のサービス提供をみんなが必死の思いで続けています。看護職の頑張りに対して、国全体で看護職の働きを認める方向へと機運は高まっています。人材確保に向けた新たな動きも進められています。

しかし、少子化に歯止めがかけられない今、人材確保と共に、業務の効率化、やりがいのもてる働き方、子育て支援など働き続けることができる環境整備など多くの課題に向き合っていく必要性を感じています。

現場で働く看護職の皆様の声を聞かせてください。看護連盟としての役割を果たすため、皆様のご協力を強くお願いしてご挨拶とさせていただきます。



日本看護連盟
会長 高原 静子

皆様には平素より日本看護連盟事業にご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。

新型コロナウイルスが「5類」に引き下げられ、患者数は緩やかに増加している状況です。今なおコロナ禍にあり、最前線に対応して頂いている看護職の皆様に改めて感謝と敬意を表します。

この度、「看護師等の人材確保の促進に関する法律(平成4年法律第86条)」が制定以来30年ぶりに改定され、人材確保と資質の向上を図りながら、あらゆる世代、あらゆる場で専門職としてその力を発揮することが求められています。

看護職が現場の状況、経験や意見を発信し政策提言に参画することが必要です。「看護のことは看護職が解決する」という意気込みが重要です。看護職員はもとより看護を支援して下さる各級議員、看護連盟・看護協会と一丸となり、政策実現に向け進んでまいりましょう。

2023年度日本看護連盟総会で次期参議院の組織内候補者予定者に「石田まさひろ参議院議員」が決定しました。看護職域代表の議員として看護職の処遇改善に尽力していただきました。皆で応援しましょう。



滋賀県看護協会
会長 草野 とし子

看護連盟の皆さまには、日ごろから看護協会の事業にご支援ご協力を頂きありがとうございます。心から感謝申し上げます。

さて、猛暑の夏、気候変動の中で局地的な豪雨による災害や地震による災害など、自然の厳しさを感じるニュースが多い夏でした。今 そのような有事に備え、また、コロナ禍での教訓を生かして、行政ではいろいろな計画の改定が進められています。感染症対応に関しては、法が改正され、新興感染症の発生時や蔓延時の検査体制や医療連携体制、在宅療養者への支援など検討されていますが、計画だけに終わり教訓が風化しないようにと平常時の訓練等が計画に盛り込まれています。

「かんごちゃん」は、看護の
魅力発信 大使です



また、第8次医療計画の策定の中では、看護職員確保に関する目標値なども検討されているところです。少子化の中での養成確保そして定着に関して厳しい現状ですが、ある部長さんが、「目の前のその一人を大切に育てているのよ」と話されていました。この姿勢って大事だと感じています。看護職が働き続けられる職場環境づくりに向けて、滋賀県看護協会でも頑張って活動していきますので、皆さまからのご支援をよろしくお願いいたします。

国会議員の活動報告



衆議院議員
あべ 俊子

いつもご支援いただきましてありがとうございます。

このたび、看護師確保のための基本指針が約 30 年ぶりに改定され、人材不足の解消策や新たな感染症発生への備えが盛り込まれます。看護職員の処遇改善や、デジタル化の促進、仮眠や休憩ができる場所の設置など、交代制勤務を考慮した業務負担の軽減を図る内容となっています。

産業界では技術革新が進み、多くの分野でデジタル化が進んできました。看護においても記録や書類作成の自動化ができれば、患者ケアを提供する時間を増やすことができるかもしれません。デジタル化は看護師の仕事をより鮮明にするのではないかと考えています。看護師の新しい働き方を、皆さまと一緒に創り上げて参ります。



エチオピア訪問



衆議院農林水産委員会での視察



衆議院議員
たかがい 恵美子

金風の候、滋賀県看護連盟の皆様にはつつがなくお過ごしのことと存じます。

医療福祉介護分野で活躍する職員のさらなる処遇改善についても期待が高まっているところです。各地域の実情に配慮した経済対策が実現されるよう、微力を投じて参ります。また技術評価に関しては、年末年始のトリプル改定作業を控え着々と準備が進められています。人生 100 年時代に相応しい感染症診療体系の整備構築を進めるため、努力していきます。

2021 年総選挙の名簿登載により奇跡的に新たな議席をいただき二年が経ちます。際立つ成果には至らずとも、周囲の心温まる励ましに助けられて地道な歩みを続けています。感謝を込め、皆様のご健勝を遠くより祈念申し上げます。



女性の健康シンポジウム



総理申し入れ
(国際協力調査会)



参議院議員
石田まさひろ

滋賀県看護連盟の皆様、日頃より多大なるご支援を賜り誠にありがとうございます。

社会全体で賃上げが進む中、看護職も一層の処遇改善を進めねばなりません。賃上げに必要な医療機関等の収入を増やすために、診療報酬の大幅な引き上げと、全ての看護職員の賃金引き上げを可能とするための財政措置を明示することを政府に求めています。また、看護問題小委員会を開催し、令和 6 年度看護関係予算概算要求に対して各看護系団体の要望を政府へ届けました。

これからも現場の声をしっかり受け止め、看護連盟・看護協会と連携しながら活動していきます。引き続きよろしくお願い申し上げます。



看護問題小委員会にて



厚生労働省へ患者団体の要望書を提出



参議院議員
とも の う りお

日頃より、様々な局面で命と向き合い、看護を提供して下さっている皆さまに心より感謝申し上げます。

参議院議員としてお仕事を開始し、1 年が経過しました。この間、参議院の委員会、党の会議など様々な場で、看護職の処遇改善、専門性の発揮、訪問看護への支援などについて訴えて参りました。「訪問看護の推進」については、来年度予算編成や重要課題への方向性を示す骨太の方針 2023 に記載がされ、今後の展開が期待されます。

現場の声を国政に！立法府である国会の一員という自覚を持ち、皆さまがより良い看護を提供できる環境を整えることができるように引き続き取り組んで参ります。今後ともご支援賜りますよう心よりお願い申し上げます。



加藤厚生労働大臣への申し入れ



厚生労働委員会で質問

2023 年度滋賀県看護連盟通常総会を開催しました



日 時 2023 年 6 月 24 日 (土) 13:30~15:15
 場 所 キラリエ草津
 参加者数 38 名 (会員 22 名、役員 16 名)、委任状提出 268 名
 (4 月 30 日現在会員数 291 名)
 来 賓 衆議院議員 上野 賢一郎、大岡 敏孝 (代理)、武村 展英 (代理)
 (敬称略) 小寺 裕雄 (代理)
 参議院議員 小鍵 隆史 (代理)
 滋賀県議会議長 奥村 芳正
 滋賀県議会議員 川島 隆二、周防 清二、重田 剛、井狩 辰也、
 桐田 真人、田中 英樹、谷口 典隆、
 大津市長 佐藤 健司
 公益財団法人 滋賀県看護協会 会長 草野 とし子
 議長団 (敬称略) 須佐美 智子、西村 美穂

報告事項

2022 年度 滋賀県看護連盟通常総会報告、
 会議・研修会報告、活動報告、決算報告、監査報告
 2023 年度 日本看護連盟通常総会代議員報告

審議事項

2023 年度活動計画 (案)、予算 (案)、役員改選 (案)

すべての審議事項に関して、過半数の賛成により可決しました。

2023 年度滋賀県看護連盟会長表彰

滋賀県看護連盟の目的達成に著しい功績があった方を表彰しました。

井戸 隆子さん (湖南地区支部 個人会員)
 木下 幸恵さん (甲賀地区支部 個人会員)



2023 年度特別講演

日 時 2023 年 6 月 24 日 (土) 15:30~16:30
 場 所 キラリエ草津 503 会議室
 テーマ 「看護の未来を見据えた国政と看護政策」
 講 師 参議院議員 石田まさひろ 氏
 目 的

1. コロナ禍で様々な影響を受けた看護職が、今後生き生きと誇りをもって働き続けるために、看護の未来をイメージできるようになる。
2. 少子化で労働人口が減少する中、看護職が、自らの専門性を発揮して国民の期待に応えていくために必要な看護政策について知る。



石田まさひろ氏の講演を聞いて

橋山 健人

今回、石田まさひろさんの講演を初めて拝聴しました。いままでの私自身、看護に関する事を国会で取り上げている方がいる、というのはぼんやりと知っている程度でした。活動されていることは何だか難しい内容を難しく話し、自身には関係のない話だと思っていました。

講演ではこれまでの看護・活動、これからの看護・活動をととても分かりやすく話してくださり、ぼんやりしたイメージがハッキリと分かった気がしました。活動の内容も私にも理解でき、看護の未来が少し自分でも考えられるようになりました。

話される内容もとてもおもしろく、看護職の方たちみなさんに石田さんの活動を文字で見るのではなく、ぜひ講演を聞いて頂きたいと思いました。



滋賀県看護協会・滋賀県看護連盟共催 2022 年度 看護管理者研修会

日 時 2023 年 3 月 11 日(土) 10:00~12:00

場 所 滋賀県看護研修センター

テーマ 看護管理者として、組織内のタスク・シフト/シェアを推進するための知識と考え方
～看護職が専門性を発揮し、より質の高い医療・看護を提供するために～

講 師 参議院議員 友納 理緒 氏

事例報告 「タスク・シフト/シェアを推進するための話し合いを軌道に乗せ、成果を出すことができた要因と今後の課題」

報告者 市立野洲病院 看護部長 小森 久美子 氏

参加者 97 名(看護部長のみならず看護師長、係長主任の参加が 3/4 以上を占めた)

- ・再度、看護職の業務と他職種の業務を見直し、全職員で「患者にとっての利益を共通目標」としてそれぞれができることを進めていきたい。
- ・事例により具体的な取り組みプロセスを学び、自院でもできる方法を見つけたいと思った。
- ・「ベッドサイドに集まる専門性」として療養生活の質を他職種の専門性で支えるタスク・シフト/シェアを進めていきたいと思った。(アンケートより)



2022 年度 地域包括ケア研修会 Part 2 「外来看護」

日 時 2023 年 3 月 11 日(土) 13:00~17:00

場 所 滋賀県看護研修センター

基調講演 「外来機能報告制度創設から考える外来看護の役割」

講 師 参議院議員 石田 まさひろ 氏

事例報告 滋賀医科大学医学部附属病院 高田久美子 氏
 済生会滋賀県病院 松村智子 氏
 びわこ学園医療福祉センター草津 逸見聡子 氏
 済生会守山市民病院 松永哲人 氏
 市立野洲病院 高雄愛子 氏

事例を受けてグループワーク

参加者 70 名(係長・主任とスタッフの参加が半数以上を占めた)

- ・地域との連携を強化して地域での療養生活を支える外来看護師の役割や課題を知ることができた。
- ・外来看護師の役割は大きく「気づき」が大切。入院中の治療を目標に入院前から情報収集や計画立案が大切だと痛感した。
- ・事例報告、グループワークからいろいろな情報を得ることができた。(アンケートより)



2022 年度 中堅研修会 「看護記録」

日 時 2023 年 3 月 12 日(土) 10:00~12:30

場 所 滋賀県看護研修センター

講 演 「医療 DX 基盤構築のために必要な看護記録のあり方を学ぶ」

講 師 参議院議員 石田 まさひろ 氏

グループワーク 看護記録の現状

参加者 70 名(スタッフの参加が 4 割と多く、20 代・30 代の参加者が 1/4 近くを占めた)

- ・現状を共有することで、どこの病院も同じ課題をもっている事がわかった。
- ・看護記録の目的を忘れて手段を優先していたことに気づかされた。

(アンケートより)



2023 年度 全体研修会



日 時 2023 年 9 月 19 日 (火) 10:30～12:00
場 所 米原市米原学びあいステーション
テーマ 「看護師国会議員の 1 年間の活動から」
～看護実践と看護政策の相互関係を理解する～
講 師 参議院議員 友納理緒氏
目 的 1. 看護実践と看護政策の相互関係を理解する。
2. 看護職として、現場の声を届けることの意味を理解する。
参加者 32 名 (30 代～60 歳以上の方まで参加)



- ・ 私たちの職場改善のために、現場の声を届けていくことの重要性を職場に伝えていこうと思いました。
- ・ 国政の中に、きちんと医療職の現場の声が反映されている事、未来像を描いて検討されていることを知ることができました。
- ・ 看護師の国会議員を代表に出すことで、小さな内容でも変わることが、今後の医療や生活にもつながることを改めて知った。
- ・ 「訪問看護の推進」と政策が進められていることを実感しました。
- ・ 今日が、自分が動く何かのきっかけになったような気がしています。 (アンケートより)

この研修会は、参加できなかった方のために、友納議員の許可を得て録画させていただきました。
各支部や青年部の研修会に活用できます。看護連盟事務所にお電話をいただき、ご相談ください。



～ 訪問看護ステーション支部が訪問看護師の声を友納議員へ ～

「訪問看護ステーションに対しては、国や都道府県からの支援が必要である」と厚生労働委員会などで声を上げている友納参議院議員の来県を知った訪問看護ステーション支部は、アンケート調査を実施して現場の声を届けたいと考えました。

156 ステーションのうち 54 ステーションより回答を得ることができました。

改善要望は、①給与・②人員不足・③長時間労働・④休暇がとれない の順に多い結果となりました。

ご協力いただきました皆様お忙しい中ありがとうございました。

全体研修会の後、淵上支部長は、訪問看護師の声を、直接友納議員に手渡すことができました。

友納議員とともに施設訪問

2023年9月19日(火) 13:40~16:00

午後は、友納議員が2か所の施設を訪問され、現場の声を直接聞いていただきました。

〈豊郷病院〉

- ・認知症ケアに力を入れている。コロナ禍で院内デイケアが十分できない時期があったが認知症を悪化させず、能力を維持するためには、患者の安心できる居場所が必要だと考え再構築に取り組んでいる。急性期において、看護師のせん妄への対応能力が向上し、せん妄の期間は短縮されている。
- ・当院はまだ定年延長できていない。ここ5~6年で一気に退職者が出ることになる。次世代管理者の育成に苦慮している。また、夜勤人員を確保することも難しい。
- ・地域との連携をめざし在宅療養サポートセンターを2016年より開設。250~260件/月の相談に訪問看護経験者や認知症看護認定看護師等、経験豊富な3名の看護師で対応している。外来通院中から地域との連携で予防介入できるために、悪化させないことに繋がっている。
- ・診療報酬にて病院看護師の処遇は改善できたが、同じ法人内の老健や訪問看護ステーションで働く看護師との格差ができてしまった。全看護職の処遇改善を望む。
- ・精神科病棟への発達障害患者の入院が増えている。ASD(自閉症スペクトラム)の入院が長期化しているケースもある。ひとり一人違った障害をもつ人たちに対するハード面での配慮がなく、生活の場や働く場の確保が難しい。さらに地域で支える人たちに、一人一人を理解してもらう難しさを感じている。施設から入院して状態がよくなっても受け入れが難しい場合も多い。
- ・認知症の方の家族の疲弊も感じている。施設での限界もある。地域包括ケア病棟では、60日間という入院期間が決まっているが、カンファレンスがなかなか進まないこともある。目標を共有して退院支援を進めていくことが難しいと感じることもある。
- ・透析患者の高齢化も進み、年間死亡者は以前の倍になっている。透析の打ち切りや見合わせなど家族が代理意思決定することもあり、遺族を交えたビリーブメントカンファレンスの意義を強く感じ実践している。先日学会で発表し、賞をいただいた。



〈ヴォーリス記念病院〉

- ・新病院に昨年11月移転したため、旧リハビリセンターを再利用して2023.4月に障害者支援としてワークステーションを開設した。自立した生活や仕事をするための支援は、近江八幡市では初めてである。
- ・現在利用者は7名で、引きこもり、家庭内暴力、精神障害などさまざまである。体験利用者は3名であり、2024年3月に高校卒業予定者も含まれる。利用者の持てる力を引き出すことに繋がっている。訓練期間は最長2年、まだ実績はない。今後は市内の企業などと障害者雇用枠で就労できることをめざし、実績を作っていきたいと考えている。
- ・医療療養では退院支援を推進している。在宅に帰っても再度入院を受け入れている。看護配置は20:1しかしこの看護配置では、患者の安全は守れない。スタッフの頑張りでもっている。
- ・緩和ケア病棟では、登録制にしたため回転率が高い。4泊5日の体験入院の後、いつでも入院可能としている。退院後は、医師と看護師が訪問診療を継続。コロナ禍は、在宅看取りが増えた。
- ・回復期リハビリテーション病棟では、院内デイケアを実施している。認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲa以上の患者が25%を占めせん妄の発症も多い。補助者も含めて人材不足の中で対応に苦慮している。
- ・今後働き方の多様性の検討が必要、働き続けられるしくみづくりが必要だと感じている。

病院の持つ機能により困っていることや取り組んでいることが様々だと学んだ。
看護の専門性を発揮し連携するためには、それぞれの病院を知ることも重要だと強く感じた
(同行した連盟役員の感想)

2023 年度 中堅研修会を開催しました



日時 2023 年 8 月 5 日(土) 13:30～16:30

講演 「マルチジェネレーション・ハーモニー

～世代間の共存を育みチーム力を向上させるために～」

講師 滋賀県看護連盟幹事(青年部副部長) 門野晴樹 氏

グループワーク 「世代の違いで感じるギャップやストレスは？」

参加者 36 名(40 代、50 代の参加者が半数以上を占めた)

兵庫県看護連盟より会長・幹事長・
青年部委員長も参加していただきました。



- ・協力関係を構築するためには、まず「自分を知る」「決めつけない」「心理的安定を作る」を改めて考えさせられた
- ・1on1ミーティング実現に向けて工夫していきたい
- ・チャット GPT など AI も活用していきたい。(アンケートより)



「マルチ ジェネレーション ハーモニー ～ 世代間の共存を育みチーム力を向上するために～」に参加して
滋賀県堅田看護専門学校 井上美代江

研修目的は、異なる世代間の理解を促進し、コミュニケーションと協力の質の向上だった。「団塊」「新人類」「ゆとり」「Z」等の各世代について、経済、教育や社会・政治的出来事、特徴を学んだ。

世代の特徴を知ることで価値観の相違があることを再認識した。

また、相手を「Z 世代」など世代で一括りにして決めつけず、個人として理解していくことの大切さや、まずは自分を知ることが必要である。そして、良好な対人関係成立には、職場がどの人にとっても

心理的に安心できる環境であること。相手とのコミュニケーションを繰り返すことが必要である。

職場でジェネレーション ハーモニーを大切に協力の質を向上したいと思う。

公益社団法人滋賀県看護協会と共に自由民主党滋賀県議会議員団へ 令和 6 年度予算・政策に関する要望書を提出しました

要望事項

1. 滋賀県保健医療計画に看護職員・看護補助者の目標数と確保方策を明記されたい。
2. 全ての看護職の処遇改善の実現に支援していただきたい。
3. 県・市町行政の新人保健師の確保定着のための支援体制を整備されたい。
4. 看護専門学校の専任教員が学生指導に十分な時間を確保できるよう、専任教員の増員など必要な支援をされたい。
5. 産休・育休から職場復帰する看護職が希望する保育所に入所できるよう、市町における体制整備への支援を強化されたい。
6. 新興感染症発生時に活躍できる感染管理認定看護師養成機関の開講に向けご尽力をお願いしたい。
7. 介護施設の看護職の実践力向上に向けた支援体制強化を図られたい。
8. 周産期医療の 4 ブロック化や地域の母子保健の体制充実に向けた協議においては、助産師など看護職の現場の声を反映されたい。
9. 医療的ケア児を支援する看護職員が安心安全に働く環境づくりの構築をお願いしたい。
10. 認知症患者を「増やさない」「悪化させない」ことを目指した「せん妄発症予防」のための体制整備に向けて支援していただきたい。

要望書に関連して、せん妄発症・せん妄対応の実態把握のため県内の全病院に調査を依頼しました。
ご協力いただきましたみなさまありがとうございました。調査結果は後日報告させていただきます。

がんばっている滋賀

今回は頑張っている新人看護師を紹介します

「入職して4か月の新人看護師の声」

- ☆ ある病院の新人フォローアップ研修で、入職4か月の新人看護師たちに今努力している事や頑張っていることを教えてもらいました。

朝、早起きをする

どんなに疲れても笑顔を忘れずにかかわっている

挨拶は、はっきりとしている

患者さんとのコミュニケーションを大切にしている

めんどくさいと思わず行動する

4か月休まずに頑張っている

患者さんの名前と顔を頑張って覚える



次のフォローアップ研修までの目標を聞きました

- ・ 「患者さんのために何ができるんだろう」という気持ちを持ちつつ、技術のスキルアップ、安全を考えた看護をする
- ・ 看護業務の優先順位を考えて行動する
- ・ 情報収集やスタッフとのコミュニケーションを行い、患者さんに必要なケアについて理解し、患者さんの退院に向けての看護を実践できる
- ・ 患者を主語にして考え行動する（優先順位）
- ・ 苦手な先輩ともコミュニケーションをとり、順序立てて行動して効率化を図る

「自由研究のため、病院にやって来た小学3年生」

夏休みのある日、自由研究で「病院のどこに AED が置いてあるのか教えてください」と問い合わせがありました。親子で心肺蘇生法を学んだ小学3年生の女兒は、「お医者さんじゃない私が、人の命を救うことができる！」と AED に興味を持ち、自宅近所のどこに AED が設置されているか調べることにしました。AED の置き場所を知った彼女は、最後に病院ではどういったところにおいてあるのかと疑問をもちました。

人の命を救うことに興味を持ってくれたことがうれしくて、看護部で対応。彼女は、実際に AED を使ってみたり、心臓マッサージを体験しました。「学校でみんなにしっかり報告します！」と元気に帰っていました。



新役員紹介



副会長 松並 睦美
幹事長 今村 香代子
幹事 間 文彦、井内 律子
玉城 邦明、門野 晴樹
監事 野一色 信子、木下 幸恵

甲賀地区支部長 平井 初美
湖東地区支部長 後藤 直樹
湖北地区支部長 笠島 智美

よろしくお願いいたします



今後の予定

2023 年度 滋賀県看護協会・滋賀県看護連盟共催
看護管理者研修会

日時 2023 年12月 17 日(日) 14:00~17:00

場所 滋賀県看護研修センター 大研修室

第1部(14:00~15:15) 詳細未定

第2部(15:30~17:00) 講演

講師 参議院議員 石田 まさひろ 氏

読者プレゼント



応募
方法

滋賀県看護連盟
「読者プレゼント」係
までご応募ください。

当選者の発表は商品の発送を
もって発表にかえさせていた
だきます。
いただいた個人情報は、商品発
送のみに使用いたします。

淡水真珠のブローチ(奥出加工さん提供)
琥珀のイヤリング、手編みの帽子
ハンカチ(magokoro♥handa♡)

受賞おめでとうございます

令和5年春の叙勲 瑞宝双光章
松田 和子

優良看護職員厚生労働大臣表彰
廣原 恵子 松並 睦美
(敬称略)

記録的猛暑の日々から秋を感じる日々がやっと
訪れました。看護職能も今の時代を乗り越えるた
めに何らかの変化が求められていると感じる昨今
です。

連盟だよりも「おうみ」と新たになり、未来に
向けて変化に向けて発信できる広報誌として編集
していきたいと思います。(広報委員 木村)

不要な羽毛ふとんは ありませんか？

東洋羽毛が無料でお引取りします

東洋羽毛は、不要羽毛ふとんの引取りを
通じて、SDGs(持続可能な開発目標)
の活動に取り組んでいます。



引取り詳細▲

- お近くの営業所または二次元コードからお申込みください。
- 引取り可能なふとんの種類は「羽毛ふとん」です。掛けふとん・敷きふとん・まくら等の羽毛製品のみです。
- ダウンジャケット等、リサイクル羽毛として活用できないものや羽毛ふとん以外は引取りできません。
- 東洋羽毛以外の羽毛ふとんも引取り可能です。

TUK Link Project



東洋羽毛関西販売株式会社

〒615-0806 京都府京都市右京区西京極畔勝町8番

京都営業所

0120-104-046